

海外に一番近い高校！ 室戸高校生が、国際会議・海外研修に参加しました

9月10日～17日

アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム (ベトナム:カオバン)



2年ごとにアジア太平洋地域で開催される国際会議で発表しました。タイで開催された前回大会に引き続き2回目の参加です。この会議は、ジオパーク活動を通じた地球科学の振興や、教育活動、環境の保護・保全、地域社会との協働、観光、地域経済など、様々な分野における取り組みや今後の方向性を議論する場となっています。大人の研究者に混じって、高校生による発表は、開催国ベトナムの1校と本校だけでした。生徒たちは英語で一生懸命スピーチし、拍手喝采でした。

11月13日～20日

ユネスコ世界ジオパーク研修ツアー (インドネシア:チレトゥ・パラブハンラトゥ)



研修ツアーでは、現地の中学生や高校生、先住民と交流しました。また、ジオサイトを視察し、地域経済の振興と地質遺産の保全を両立させることで持続可能な発展を実現している優れた事例について学びました。生徒たちは、事前学習をしっかりとしたうえで研修に参加し、現地の方に積極的に質問していました。室戸高校では、「海外に一番近い高校」として定期的に生徒を海外に派遣し、国際交流を通じて「世界的な視野を持ち、地域社会の活性化や持続可能な発展に貢献できる人材」の育成に努めています。